



岩瀬 計介 議員

子育て支援ヘルパー派遣制度の創設を

問 育児に困っている場合に利用でき、子育ての負担を軽くする取り組みを。

答 健康福祉部長 子育て支援へのニーズが多様化する中、東浦町、刈谷市が、妊娠または乳児のいる母親を対象として「子育て支援ヘルパー派遣事業」「産後ホームヘルパー派遣事業」を実施している。

制度の導入については、支援対象者の要件などを十分研究・検討していく。

公共施設トイレ事情

問 トイレに、手摺り、シヤワー付暖房便座の設置を。

答 教育部長 手摺りは、町民会館を始め、できるところから検討していく。

多目的トイレの改修やシヤワー付暖房便座の設置は、改修の際に検討していく。

街路緑化について

問 富貴駅東の整備が進む中、街路緑化や花のプランター設置を。

答 町長 街路緑化については、花のプランターの設置、民地内緑化なども含め、商店や地域の住民の皆さまと話し合いを持ち、協働により進めていく手段も考えられる。ご理解とご協力を期待している。



■名鉄富貴駅東の道路



石川 義治 議員

住民の多様なニーズに対応した図書館資料の選定を

問 資料選定に際し、住民から、これまでにとどのよう な指摘があったか。

答 生涯学習課長 分野・著者が偏っている。また、テーマについても反対側の論調の資料が少ないとの意見があった。

問 資料選定の基となる武豊町立図書館資料選定基準を、住民に対し広く周知できないか。

答 教育部長 図書館への掲示・ホームページへの掲載を考えていく。

問 全国主要5紙と言われる新聞の一部が、寄贈として設置されている理由は。

答 生涯学習課長 当初、需要がなかったが、利用者の要望により継続受入ができるようになった。

問 Wi-Fiが使用できるようにならないか。

答 教育部長 財政ならびに他の施設との調整をし、早いうちに導入を検討する。

問 予算書などの行政情報を電子化して図書館に設置できないか。

答 総務部長 現在実施しているホームページの改修に合わせて検討する。

※他に「やすらぎの森墓園の今後について」の質問。



■武豊町立図書館の掲示板

町立図書館の今後は

新しい技術や運営手法を導入する



南 賢治 議員

問 庁舎案内人の人選は

答 再任用の職員を選んだ

庁舎案内人は行政の顔

武豊町の庁舎の顔について、案内人が定年退職した再任用の方で、町のアピールになるのか。

問 町の顔であると言う認識は持っているのか。

答 企画部長 町の窓口は、まさに行政の顔であり、住民の声は、行政サービス向上に向けてのアイデアの宝庫である。

問 再任用の方は、どこのポジションでもやれるのだから、業務を覚えるためにも、各課持ち回りで、もっと若い職員に案内人をしていただいたらどうか。

答 企画部長

調査研究はしていくが、当面は今のままでいきたい。

特定外来種について

問 オオキンケイギクについて、町民への周知は。

答 生活経済部長 オオキンケイギクの防除、拡散防止などについて、国県の情報を使用し、町の広報・ホームページなどで周知をしていく。

※他に「選挙について」の質問。



■特定外来種のオオキンケイギク

問 指導要領改定に伴う負担の軽減を

答 教職員との意見交換を始める

学習指導要領が来年度にも全面改定される

問 精神的な面を含め、教師の負担が今以上に増すが、負担軽減の取組みは。

答 町長 これまでも人的・物的・精神的な支援などを進めてきたが、改定などにより教育はめまぐるしく変化しており、今年度より各学校の全ての教職員と意見交換を実施していく。

問 特別な教科として格上げされる「道徳」は、各校の判断で今年度から授業が可能となるが、本町の対応は。

答 教育部長 本年度から実施する市町村は数%に留まっている。

本町ではこれまで通り「いのちの教育」指導案を活用して充実を図っていく。

防災力の更なる強化が必要

問 ため池の決壊によるハザードマップが公表された。津波対策で水門を閉じると、ため池より決壊した水の逃げ場がないが、どのような連携をとるのか。

答 総務部長 ため池の決壊などに関わらず、災害被害を最小限に食い止めるため、閉門操作を最優先する。

しかし、今回の調査結果を受け、情報伝達手段について、早急にマニュアルを見直していく。



石原 壽朗 議員



■学校の授業風景

問 国策の地方創生をどう考えるか

答 第5次総合計画を具現化する手段



鈴木 一也 議員

人口減少を食い止めるための取り組みは

問 第5次武豊町総合計画・後期戦略プランと地方版総合戦略との整合性は。

を具現化する手段のひとつである。

問 人口減少を食い止めるには、子育て世代の流入か、定住の促進と考えるが、どう取り組むのか。

答 町長 このたび策定した後期戦略プランに「しあわせプラン」を盛り込み、町民の幸福度を高める重要な3つの視点（子ども、絆、生きがい）の設定を行い、具体的な目標を明示し、重要事業として位置づけた。

一方、地方版総合戦略は、人口減少克服・地方創生を目的に、「雇用の促進」「ひとの流れ」「若年世代の生活支援」「安心してくらせるまちづくり」の基本目標を掲げ、基本的な方向と、重要な業績評価指標を設定した具体的な施策を策定した。

第5次武豊町総合計画のめざすべきまちの姿



■第5次武豊町総合計画・後期戦略プラン

答 健康福祉部長 子育てを妨げるさまざまな障害を取り除き、地域全体で子育てを支援し、子どもを持ちたい人が安心して生み・育てられる環境を整備することが、結果として子育て世代の流入や定住の促進にもつながると考える。

※他に「ふるさと納税について」の質問。

問 ボランティアポイント制の創設を

答 介護予防事業の選択肢の一つ



本村 強 議員

孤立は要介護リスク増大

他人との交流が月1回以上週1回未満の孤立した高齢者は、毎日人付き合いをしている人に比べ、要介護2以上になる可能性が1.4倍以上（日福大・斉藤准教授）。

要介護に陥らないために、その時期をできるだけ遅らせるには、どうすればいいのか。

広がっていくと思う。「憩いのサロン」事業とポイント制度の組み合わせはどうか。

問 ポイント制度に対する見解は。

答 健康福祉部長 今後の介護予防事業展開の中で、選択肢の一つとして調査・研究する。

問 ポイント制度と組み合わせることによって、ボランティアの方も喜んでいただき、張り合いが出て魅力的になり、クチコミによって事業も

答 健康福祉部長 サロンは、無償ボランティアの皆さんで運営。現時点では難しい。しかし、新たなボランティアさんがなかなか入らないという課題の解消のために、サロンボランティアの方々とともに研究していく。

※他に「犬・猫の殺処分ゼロへの地域活動について」の質問。



■介護予防一憩いのサロン事業



甲斐 百合子 議員

問 手話通訳の窓口設置を

答 現在、派遣事業と筆談で対応

窓口到手話通訳の設置を

問 知多半島においても窓口到手話通訳を設置する市町も増えてきた。武豊町はどう考えるか。

答 **健康福祉部長** 本町では、障害者総合支援制度に基づき、手話通訳者および要約筆記者の派遣事業の受付を福祉課の窓口で行っている。また、役場をはじめ町内10箇所の施設で「耳マーク」の表示板を設置し、筆談を基本とした窓口対応をしている。

現在、手話通訳者の設置については考えていない。

町民協働の新しい取り組みを提案

問 スマートフォンを利用して道路や施設の破損を町に要望する「マイレポ」は、迅速かつ効率的な町民協働のツールになると考えるが、導入してはどうか。

答 **企画部長** これまでの広聴制度と同じ方法の一つとして、手軽に情報提供が行えて便利になると考えられるが、管理・運用面の課題もあるため、これから調査・研究を進めたい。



■「マイレポ半田」のシステムイメージ

問 緑化推進で潤いある公園整備を

答 愛着の持てる公園づくりを進める

都市公園の緑化率は

問 6月は「環境月間」で、さまざまな催しが行われる。町の環境を守る上で、都市公園の緑が重要な役割を果たす。町内にある8都市公園の緑化率はどのようになっているか。

答 **建設部長** 町内都市公園の緑化率は、最高60%、最低26%で、平均で50%である。

公園の特徴は

問 それぞれの都市公園の特長は。また、公園の緑化・植栽についてどのような考えを持っているか。

答 都市計画課長 特徴

として、鹿ノ子田公園、砂川公園は、もともと公園内にあった松の木を取り込み整備した。

他の公園は、区画整理事業実施時に公

住民参加の植樹を

園整備をしている。植栽については、生物の生息環境や潤いのある都市景観の形成などに配慮している。

問 今後、公園整備を進める手段の一つとして、アニバーサリー植樹（記念植樹）を考えているのか。

答 **建設部長** アニバーサリー植樹は、公園に愛着を持っていただくよい機会になると思っているので、調査・研究してみたい。



■アニバーサリー植樹を期待する公園



青木 信哉 議員

問 交通安全への取り組みは

答 武豊町飲酒運転根絶条例を制定

交通安全について

問 平成27年度の交通安全への取り組みは。

答 町長 季節ごとの交通安全全県民運動に合わせたキャンペーンおよび町内一斉街頭監視活動を行う。

本町では、飲酒運転検挙者数が多いことから、飲酒運転による事故・違反者・被害者を出さないという強い意志を表すため「武豊町飲酒運転根絶条例」を早急に制定したい。

また、園児には歩行訓練、児童には自転車訓練と段階的に交通ルールを身につけられるよう取り組む。高齢者の事故死者数の割合が多いため、啓発活動も積極的に行う。

防災について

問 平成27年度の武豊町防災訓練の計画内容は。

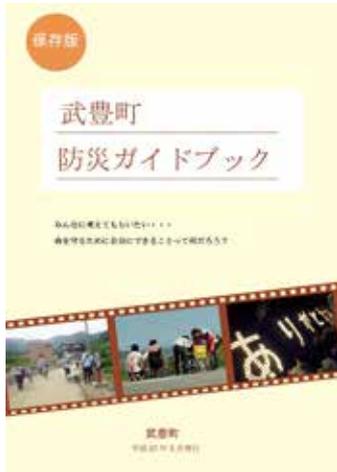
答 総務部長 平成27年4月に作成した第3次武豊町地震対策アクションプランに基づき実施する。

①9月1日・3月11日にシイクアウト訓練を実施。
②町一斉防災訓練を10月14日に開催。

③機能別訓練として地区別避難所開設訓練を3年間で6箇所実施。

問 武豊町防災ガイドブックの防災教育への利用は。

答 防災交通課長 低学年・中学年・高学年用の指導案を作成し、教員による授業を行う予定である。



■平成27年3月に発行した防災ガイドブック

問 放課後児童クラブの定員増加は

答 必要に応じた見直しを検討する



櫻井 雅美 議員

放課後児童クラブ待機児童

問 現在の待機児童数は。

答 健康福祉部長 町内4つの児童クラブで22人の待機を把握している。

問 対象年齢拡充への今後の対応は。

答 健康福祉部長 平成29年より4年生から6年生までの受け入れを始め、順次段階的に拡充していく計画をしている。

問 長期休暇の募集予定は。

答 子育て支援課長 定員に欠員がないため、夏休み期間の募集ができない。平成29年度以降は長尾児童館を利用し、定員10名で夏休み期間の児童クラブを計画している。

問 今後の定員について「子ども・子育て支援計画」では平成27年度210人、平成31年度230人と20人の増加。この計画で待機児童の解消はできるのか。

答 子育て支援課長 見込みについては平成25年度アンケートと推計児童数より算出。今後、必要に応じた見直しを検討する。

※他に「ファミリーサポートセンターについて」の質問。



■放課後児童クラブの様子